



国立教育政策研究所 令和7年度教育研究公開シンポジウム

これからの時代の

社会基盤としての

社会教育を考える

「今、なぜ社会教育なのか」

2025年
12 / 13 土

13:30~17:00
(受付13:00~)



社会教育実践研究センター設立60周年を記念して、シンポジウムを開催します。

現在、中央教育審議会において社会教育の在り方について議論されており、社会教育主事や社会教育士の取り組みの活性化による地域課題の解決等が期待されています。

本シンポジウムでは、「今、なぜ社会教育なのか」と題して様々な「コミュニティ形成」の現場を取り上げながら、真の「社会基盤形成」とは何か、そのためにどのような社会教育の学びが必要なのかについて考え、社会教育の推進に資することを目的とします。

特別講演

これからの社会教育の在り方を考える
～アートで社会課題を解決する取組から～



東京藝術大学
日比野 克彦 学長

場所

文部科学省3階講堂

(東京都千代田区霞が関3丁目2番2号)

ハイブリッド開催 (対面及びオンライン)

定員 ・会場150名 ・オンライン600名

参加対象者

教育委員会関係者、社会教育主事、社会教育士、社会教育関係者及び一般の方

申込方法

本研究所ホームページ「イベント情報」の特設サイト
および 以下の受付URL、二次元バーコードより ▶

受付URL <https://business.form-mailer.jp/fms/4c343c77305820>



申込締切

2025年12月9日(火) 15時まで 定員になり次第締切

参加無料



お申込みに関するお問合せ

教育研究公開シンポジウム
申込受付事務局(株式会社Piic)

TEL/03-6822-5350

E-mail/convention@piic-inc.com

受付時間/10:00~17:00(土日・祝日を除く)

これからの時代の
社会基盤としての
社会教育を考える
〜今、なぜ社会教育なのか〜



2025年

12

13

13:30~17:00

(受付13:00~)

プログラム

- 13:30 開会挨拶 森田 正信 (国立教育政策研究所 所長)
高田 行紀 (文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 課長)

特別講演

- 13:45 「これからの社会教育の在り方を考える
〜アートで社会課題を解決する取組から〜」
日比野 克彦 (東京藝術大学 学長)

調査研究報告

- 14:45 「社会教育主事と社会教育士等の配置・在り方に関する調査」
中間報告
志々田 まなみ (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官)

15:05 休憩

シンポジウム

- 15:15 「これからの時代の社会基盤としての社会教育を考える
〜今、なぜ社会教育なのか〜」

コーディネーター

青山 鉄兵 (文教大学 准教授)

登壇者

藤野 真一郎 (恵庭市教育委員会教育総務課 課長)

豊田 庄吾 (三次市教育委員会教育部 次長 (初代隠岐國学習センター長))

鈴木 貫司 (NPO 法人わかものまち / みんなの公民館まる センター長)

- 16:50 閉会挨拶 佐藤 貴大 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター センター長)